



## 南海トラフ巨大地震を想定した、津波浸水予測図をお知らせします。

これまでの浸水予測図よりも、浸水地域が大きくなり、浸水高が高くなっていますので、ご確認ください。

防災行政無線で、(大)津波警報の発表があった場合や地震による揺れを感じた場合は、すぐに高台に避難し最寄りの避難所に避難してください。

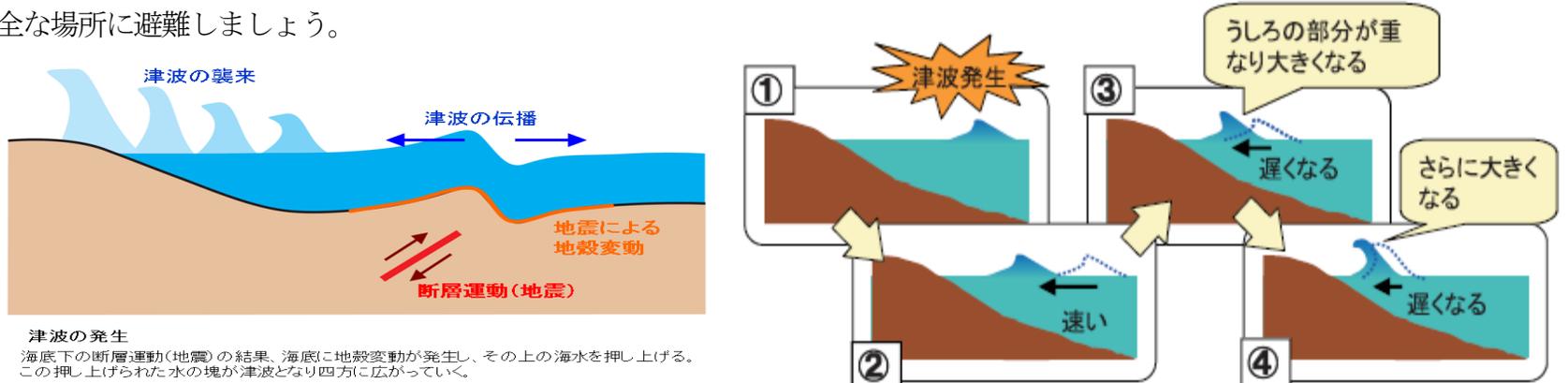
小笠原村では、アルファ米・飲料水・粉ミルク・子供用おむつ等の災害時備蓄品を、現在3日分保存しています。津波による災害が発生した場合、港湾の状況や内地被災状況により、内地からの救援物資がすぐに届かないことも考えられますので、**各ご家庭でも1週間分の非常食等の災害備蓄をお願いします。**

### 《津波に関する基礎的な知識》

#### I. 津波

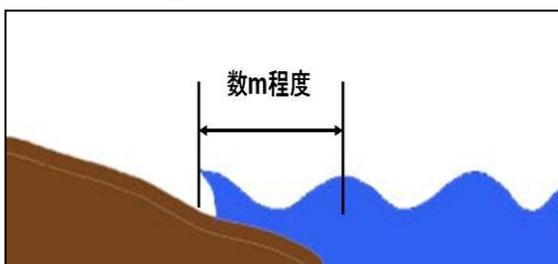
海域で大きな地震が発生すると、海底地形が大きく隆起したり沈降したりする場合があります。このとき、その上にある海水が大きく上下し、この変動が四方八方へ広がっていきます。これが津波です。

津波は水深が浅くなるほど伝わる速さが遅くなる性質があります。このため水深が浅くなる陸地付近では、後からくる津波が次々に追いつき、高さが急激に増していきます。大きな地震の揺れを感じた場合や津波警報が発表された場合は、至急高台の安全な場所に避難しましょう。

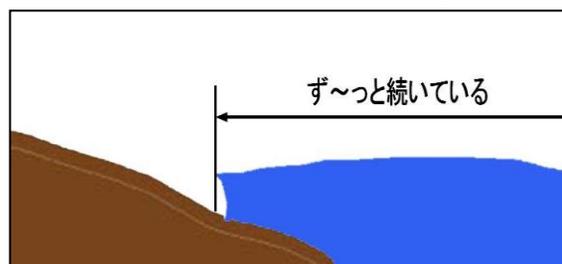


#### II. 津波と波浪の違い

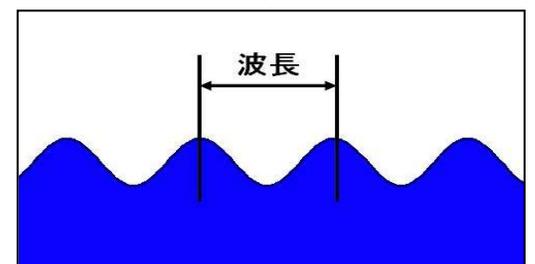
津波は風などによって生じる波浪とは異なり、海底から海面までの海水全体が「巨大な水のかたまり」となって押し寄せることとなります。そのため、津波が陸上に上がると多くのものを押し波によって一気に押し流します。また、陸上に上がった津波が海に戻るとき引き波では、破壊した家屋などの漂流物を一気に沖に引きずり込むため、破壊力は非常に大きなものとなります。陸上に這い上がった津波の高さが50cmに満たなくても人や建物などに被害を与えるのはそのためです。



普通の波はこのようなイメージ  
※海面付近の海水だけが押し寄せる。



津波はこのようなイメージ  
※海底から海面までの海水全体が押し寄せる。



※津波の場合波長が数km～数百kmと非常に長くなります。

**災害はいつ起こるかわかりません。日ごろから避難路の確認や災害備蓄を行い自分のそして家族の命を守りましょう。**

津波来襲時の避難先については、以下の場所となります。

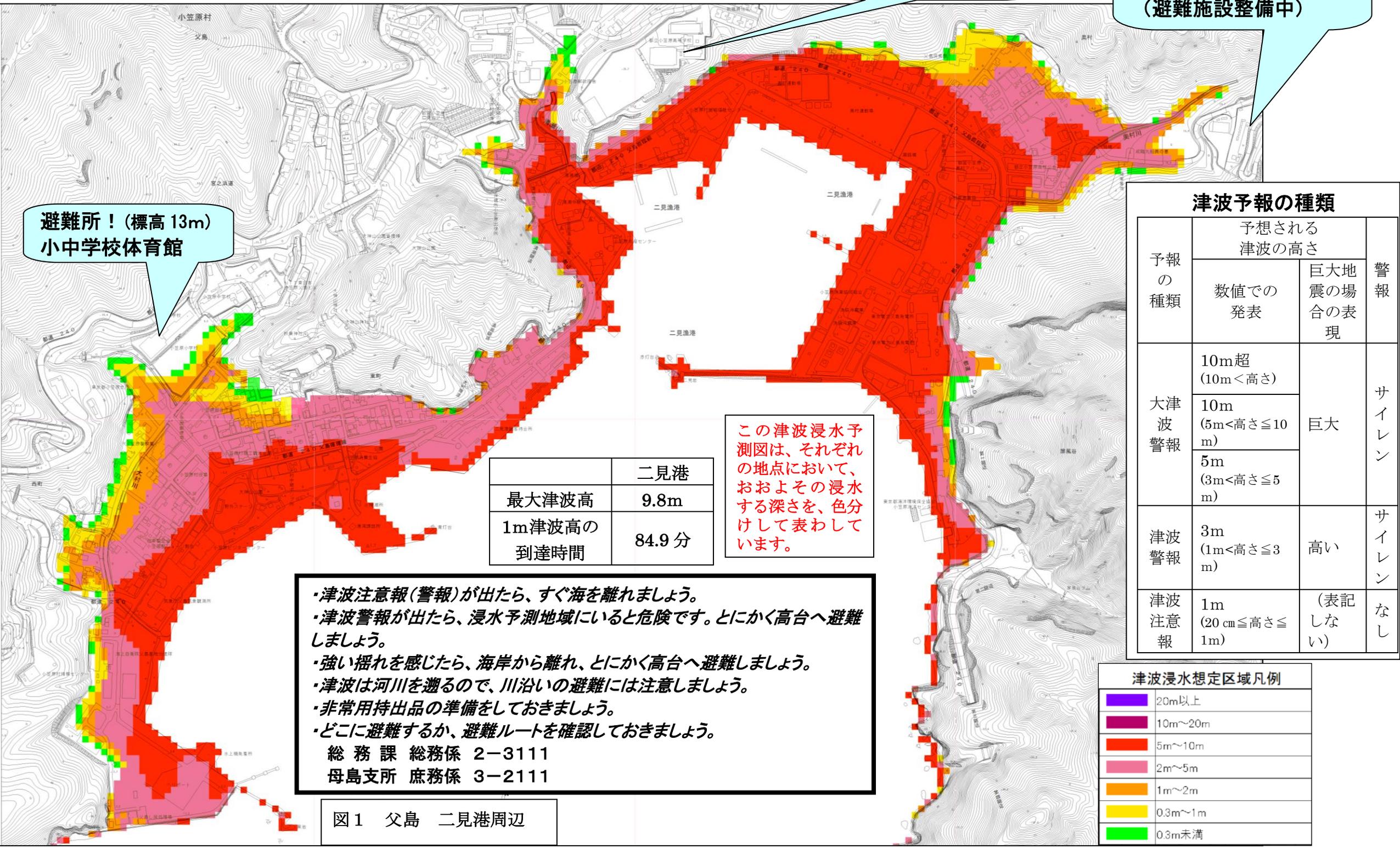
- 父島 ・西町、東町地区→小笠原小中学校(体育館) ・清瀬地区→小笠原高等学校(体育館)
- ・奥村地区→(仮)奥村交流センター ・扇浦地区→扇浦交流センター
- 母島 ・元地・静沢地区→小笠原村母島診療所

# 津波浸水予測図

避難所！(標高 30m)  
高等学校体育館

避難所！(標高 28m)  
(仮) 奥村交流センター  
(避難施設整備中)

避難所！(標高 13m)  
小中学校体育館



	二見港
最大津波高	9.8m
1m津波高の 到達時間	84.9分

この津波浸水予測図は、それぞれの地点において、おおよその浸水する深さを、色分けして表わしています。

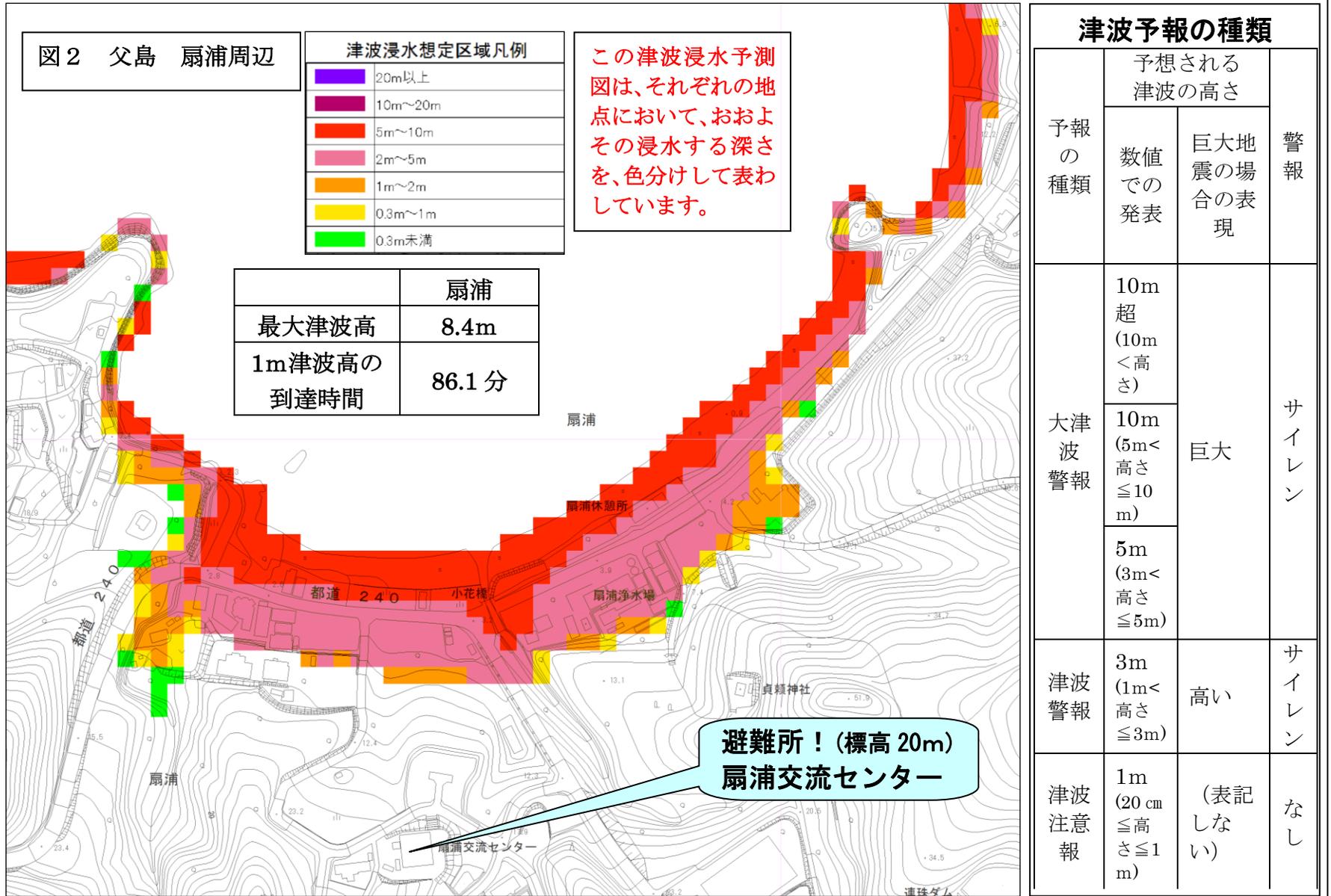
- ・津波注意報(警報)が出たら、すぐ海を離れましょう。
  - ・津波警報が出たら、浸水予測地域にいると危険です。とにかく高台へ避難しましょう。
  - ・強い揺れを感じたら、海岸から離れ、とにかく高台へ避難しましょう。
  - ・津波は河川を遡るので、川沿いの避難には注意しましょう。
  - ・非常用持出品の準備をしておきましょう。
  - ・どこに避難するか、避難ルートを確認しておきましょう。
- 総務課 総務係 2-3111  
母島支所 庶務係 3-2111

津波予報の種類			
予報の種類	予想される津波の高さ		警報
	数値での発表	巨大地震の場合の表現	
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	サイレン
	10m (5m<高さ≤10m)		
	5m (3m<高さ≤5m)		
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	サイレン
津波注意報	1m (20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	なし

津波浸水想定区域凡例	
■	20m以上
■	10m~20m
■	5m~10m
■	2m~5m
■	1m~2m
■	0.3m~1m
■	0.3m未満

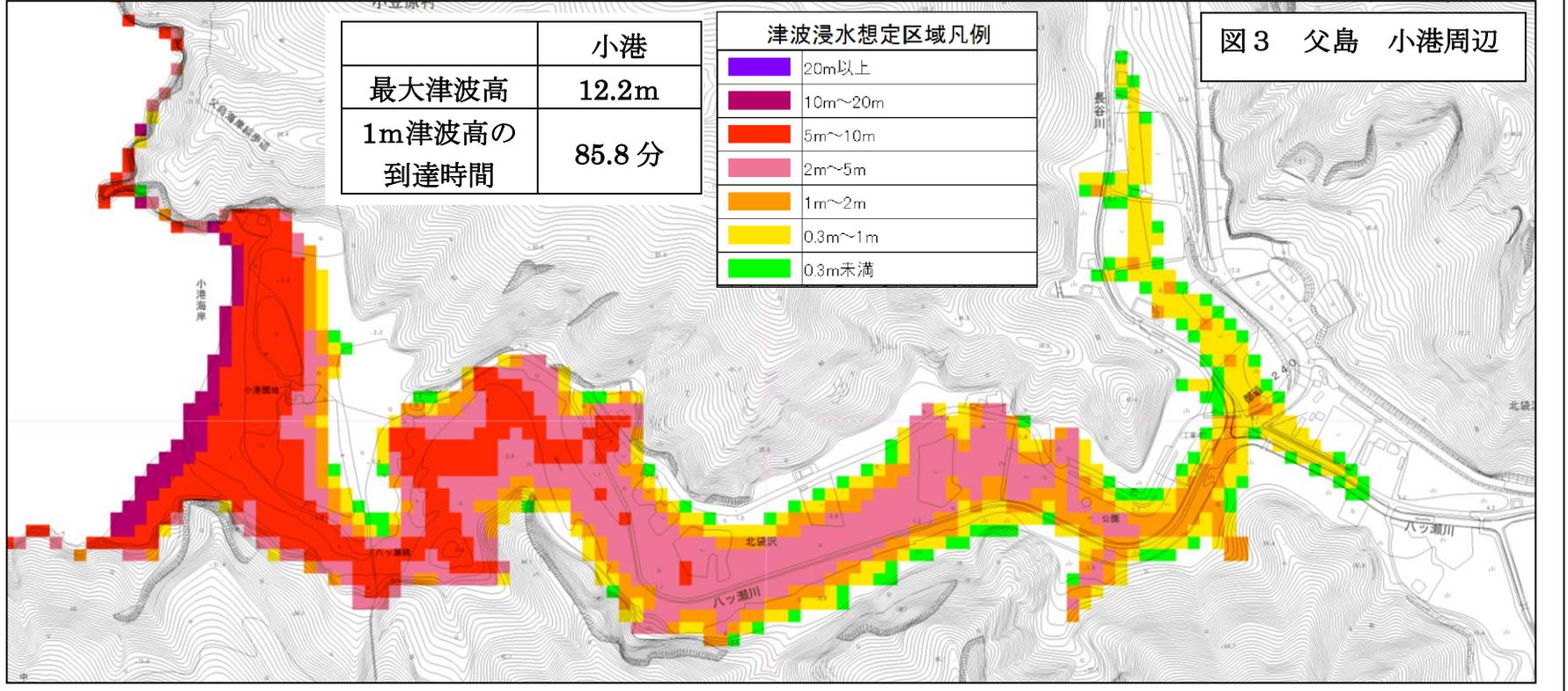
図1 父島 二見港周辺

# 津波浸水予測図

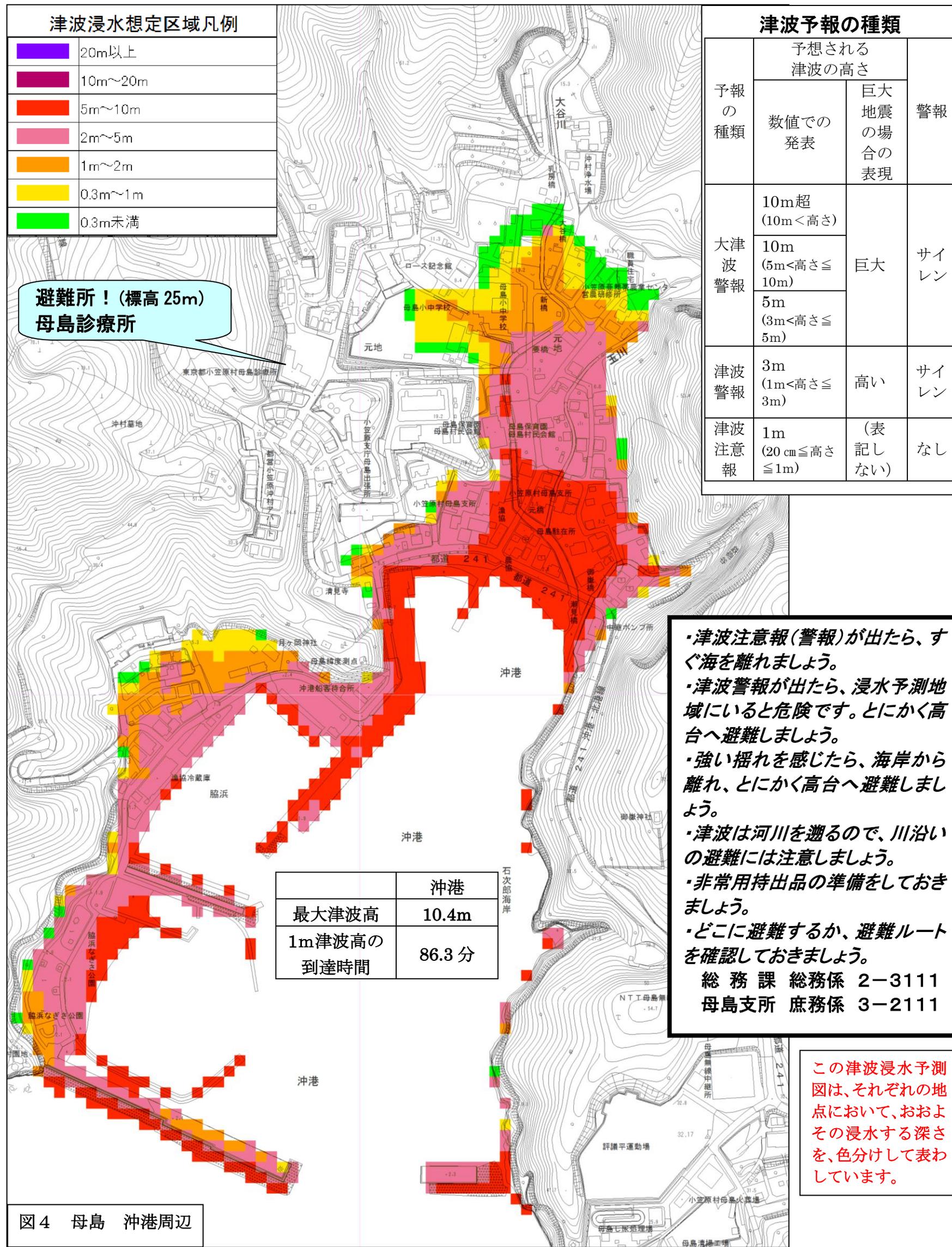


- ・津波注意報(警報)が出たら、すぐ海を離れましょう。
- ・津波警報が出たら、浸水予測地域にいると危険です。とにかく高台へ避難しましょう。
- ・強い揺れを感じたら、海岸から離れ、とにかく高台へ避難しましょう。
- ・津波は河川を遡るので、川沿いの避難には注意しましょう。      ・非常用持出品の準備をしておきましょう。
- ・どこに避難するか、避難ルートを確認しておきましょう。

総務課 総務係 2-3111      母島支所 庶務係 3-2111



# 津波浸水予測図



## 津波浸水想定区域凡例

<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:blue;"></span>	20m以上
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:purple;"></span>	10m~20m
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:red;"></span>	5m~10m
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:orange;"></span>	2m~5m
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:yellow;"></span>	1m~2m
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:lightyellow;"></span>	0.3m~1m
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:lightgreen;"></span>	0.3m未満

## 津波予報の種類

予報の種類	予想される津波の高さ		警報
	数値での発表	巨大地震の場合の表現	
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	サイレン
	10m (5m<高さ≤10m)		
	5m (3m<高さ≤5m)		
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	サイレン
津波注意報	1m (20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	なし

避難所！(標高 25m)  
母島診療所

	沖港
最大津波高	10.4m
1m津波高の到達時間	86.3分

・津波注意報(警報)が出たら、すぐ海を離れましょう。  
 ・津波警報が出たら、浸水予測地域にいと危険です。とにかく高台へ避難しましょう。  
 ・強い揺れを感じたら、海岸から離れ、とにかく高台へ避難しましょう。  
 ・津波は河川を遡るので、川沿いの避難には注意しましょう。  
 ・非常用持出品の準備をしておきましょう。  
 ・どこに避難するか、避難ルートを確認しておきましょう。  
 総務課 総務係 2-3111  
 母島支所 庶務係 3-2111

この津波浸水予測図は、それぞれの地点において、おおよその浸水する深さを、色分けして表わしています。

図4 母島 沖港周辺